

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



第一三共株式会社 株主説明会 ～ 第一三共の現況と成長戦略 ～

代表取締役社長 兼 COO
真鍋 淳

2018年2月25日（日）

将来の見通しに関する注意事項

本書において当社が開示する経営戦略・計画、業績予想、将来の予測や方針に関する情報、研究開発に関する情報等につきましては、全て将来を見込んだ見解です。これらの情報は、開示時点で当社が入手している情報に基づく一定の前提・仮定及び将来の予測等を基礎に当社が判断したものであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。従いまして、実際の当社の業績は、当社の見解や開示内容から大きくかい離する可能性があることをご留意願います。また、本書において当初設定した目標は、全て実現することを保証しているものではありません。なお、実際の結果等にかかわらず、当社は本書の日付以降において、本書に記述された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。

本書において当社が開示する開発中の化合物は治験薬であり、開発中の適応症治療薬としてFDA等の規制当局によって承認されてはおりません。これらの化合物は、対象地域においてまだ有効性と安全性が確立されておらず、開発中の適応症で市販されることを保証するものではありません。

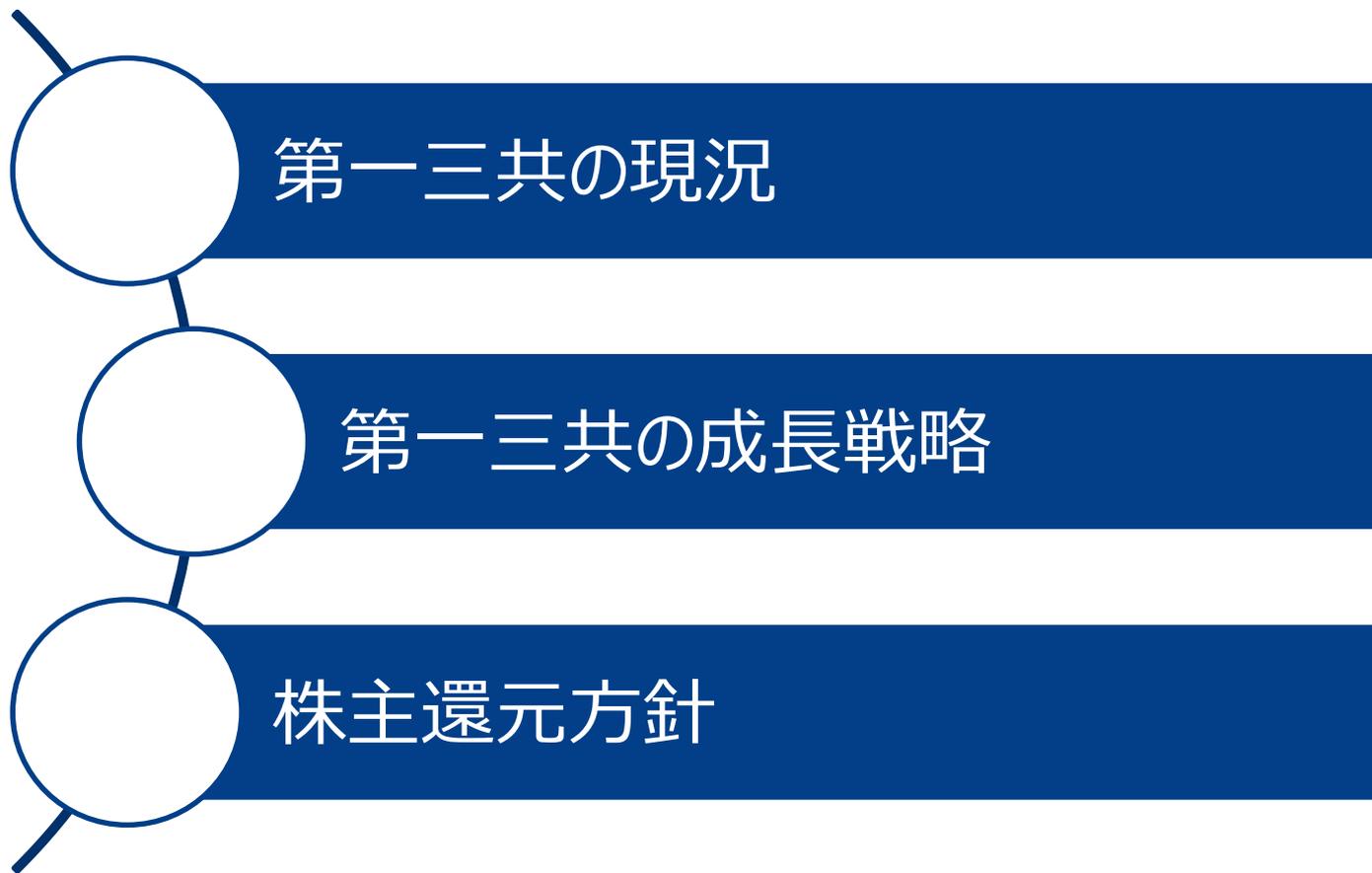
当社は、本書に記載された内容について合理的な注意を払うよう努めておりますが、記載された情報の内容の正確性、適切性、網羅性、実現可能性等について、当社は何ら保証するものではありません。また、本書に記載されている当社グループ以外の企業・団体その他に係る情報は、公開情報等を用いて作成ないし記載したものであり、かかる情報の正確性、適切性、網羅性、実現可能性等について当社は独自の検証を行っており、また、これを何ら保証するものではありません。

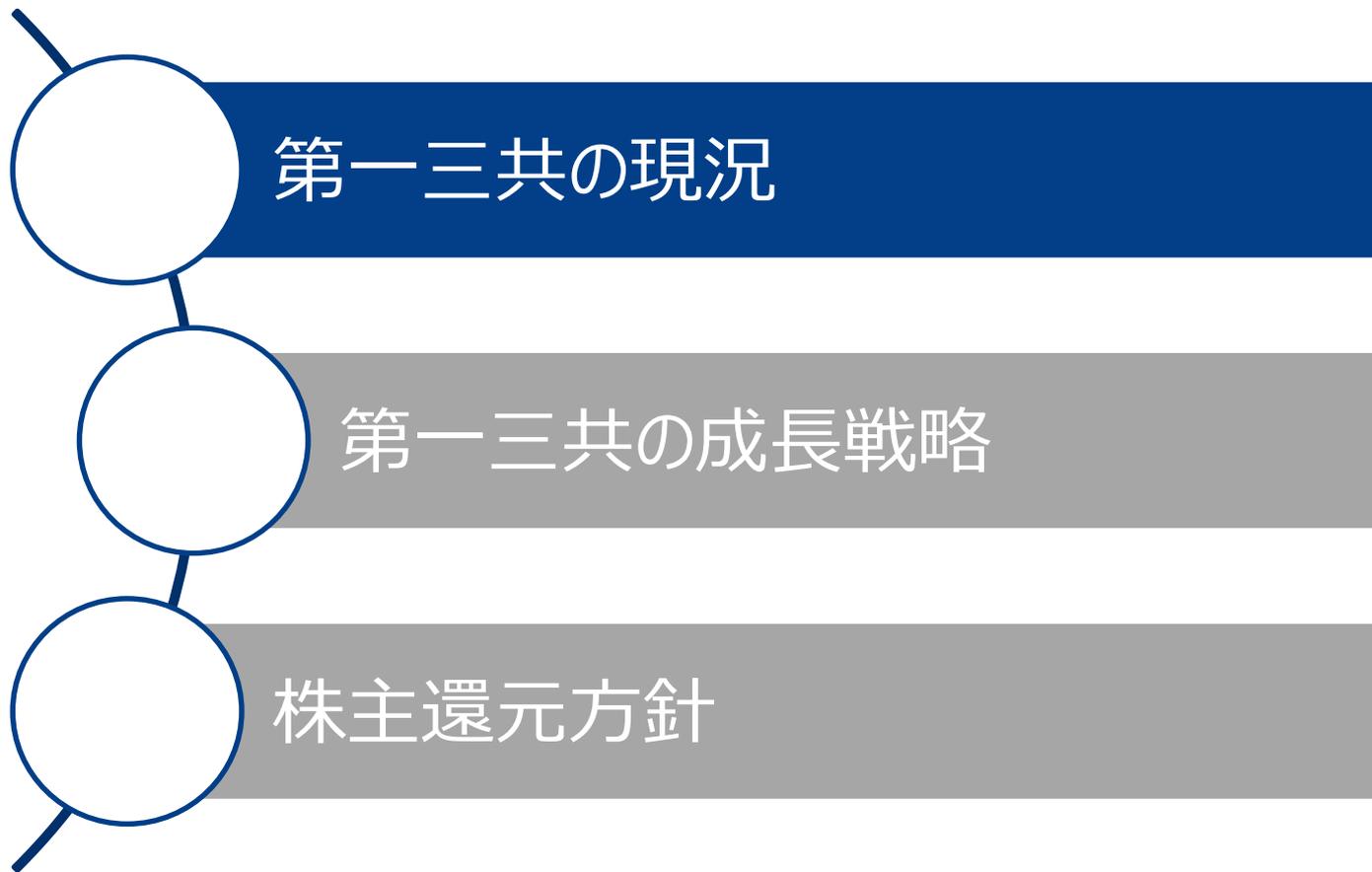
本書に記載の情報は、今後予告なく変更されることがあります。従いまして、本書又は本書に記載の情報の利用については、他の方法により入手した情報とも照合し、利用者の判断においてご利用ください。

本書は、米国又は日本国内外を問わず、いかなる証券についての取得申込みの勧誘又は販売の申込みではありません。

本書は投資家判断の参考となる情報の公開のみを目的としており、投資に関する最終決定はご自身の責任においてご判断ください。

当社は、本書に記載された情報の誤り等によって生じた損害について一切責任を負うものではありません。





企業理念

革新的医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応える医薬品を提供することで、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

コア・バリュー

Innovation

社会や人々の生活に大きな変化を与える新しい仕組みや発明などを創造すること

Integrity

法令、規則、個人行動原則などを遵守し、誠実さと高い規範を保つこと

Accountability

行動の結果に責任を持ち、その結果に至ったプロセスに対して十分な説明ができること

コミットメント

1. SOCを変革する先進的医薬品の創出
2. グローバルな視野とリージョナルバリューの尊重
3. アカデミックな探究心と先見性のある洞察力
4. 高品質な医療情報の提供
5. 高品質な医薬品の安定供給
6. 信頼される医療パートナー
7. 目標実現への強い意志
8. プロフェッショナルな個人と強いチームワーク

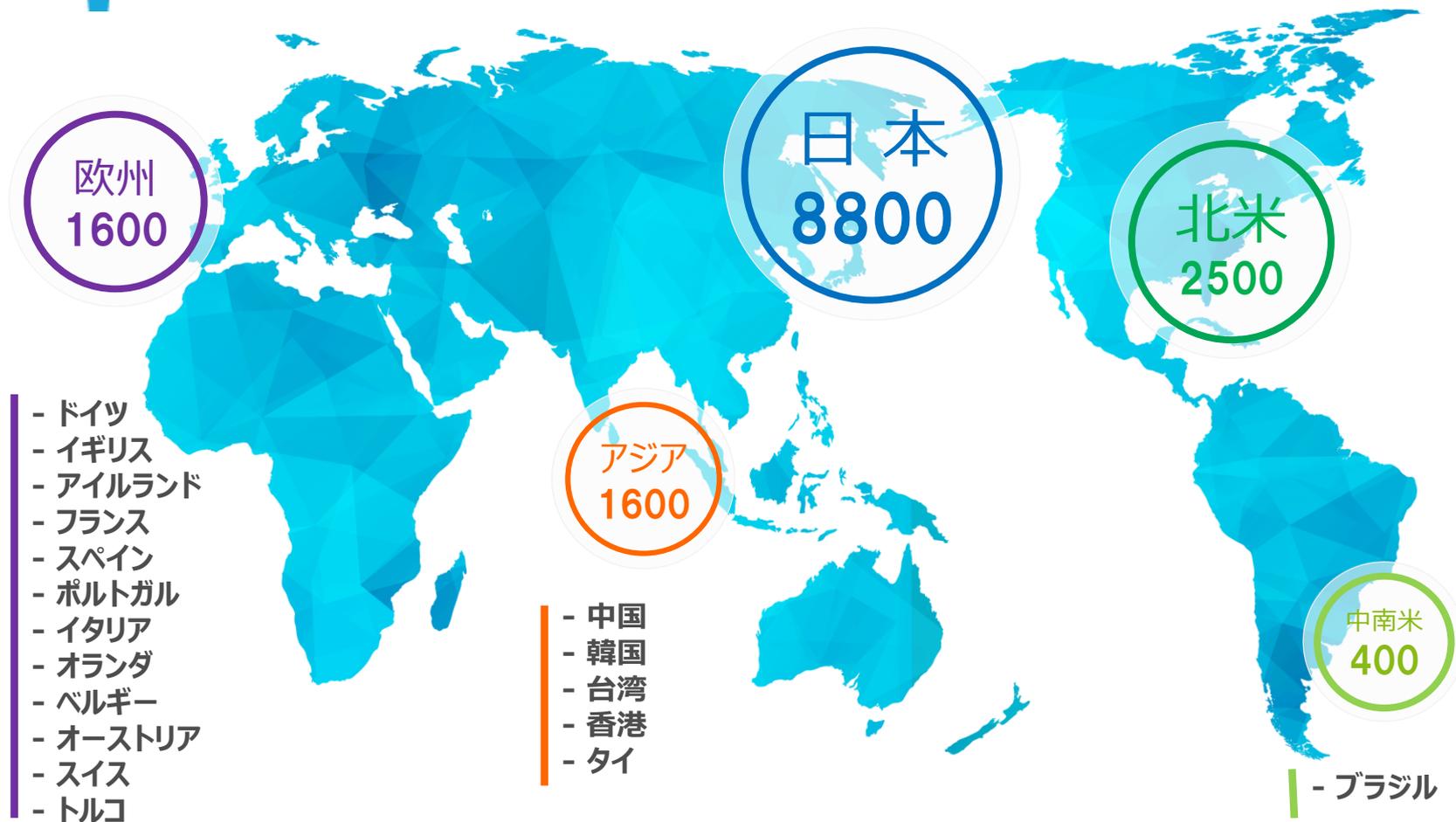
コーポレートスローガン

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

グループ従業員数 (2017年12月末現在)



世界中で約15,000名の社員が働いています。



第一三共の強み

サイエンス・
テクノロジー

創薬型企业として
長年引き継がれてきた
強力な研究開発の
DNA

先進的医薬品を
創出する
高い創薬技術

先進的なアカデミアとの
強力な関係
(オープンイノベーション)

グローバル
組織・人材

世界の英知を結集した
グローバル経営体制

豊富なグローバルタレント

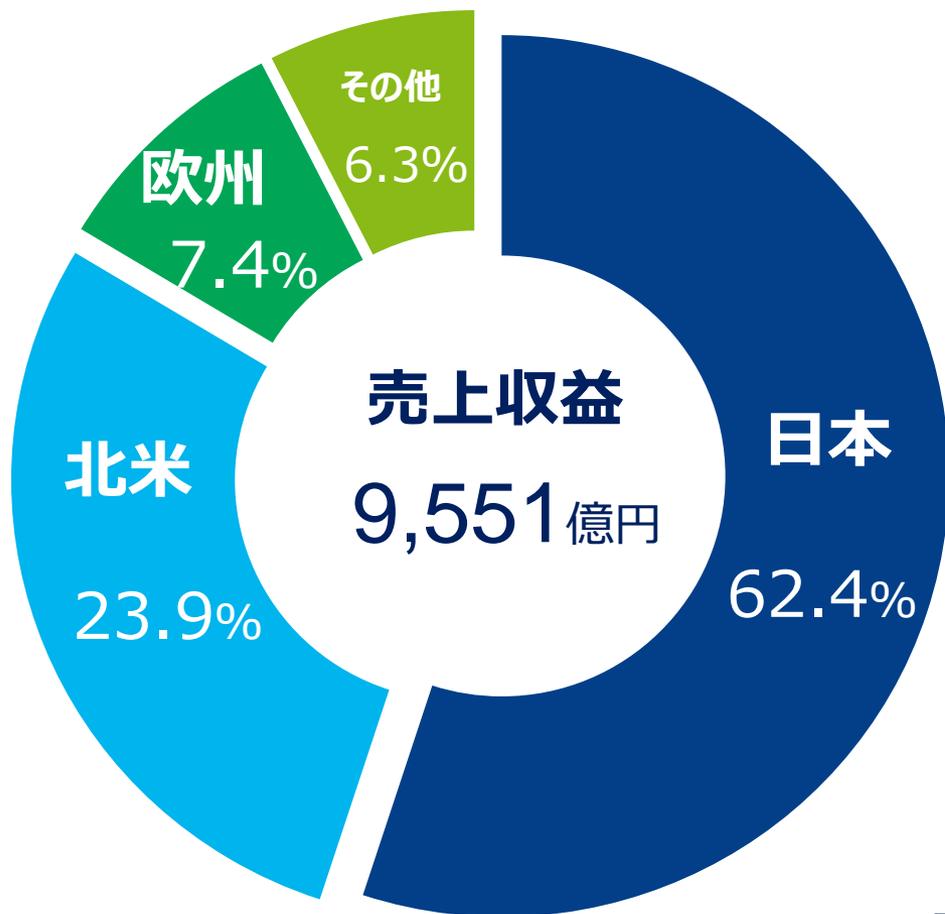
日本での
プレゼンス

医療用医薬品
売上収益
第1位

MR評価
6年連続1位

多様な医療ニーズへ
対応する
4事業展開

2016年度の連結業績



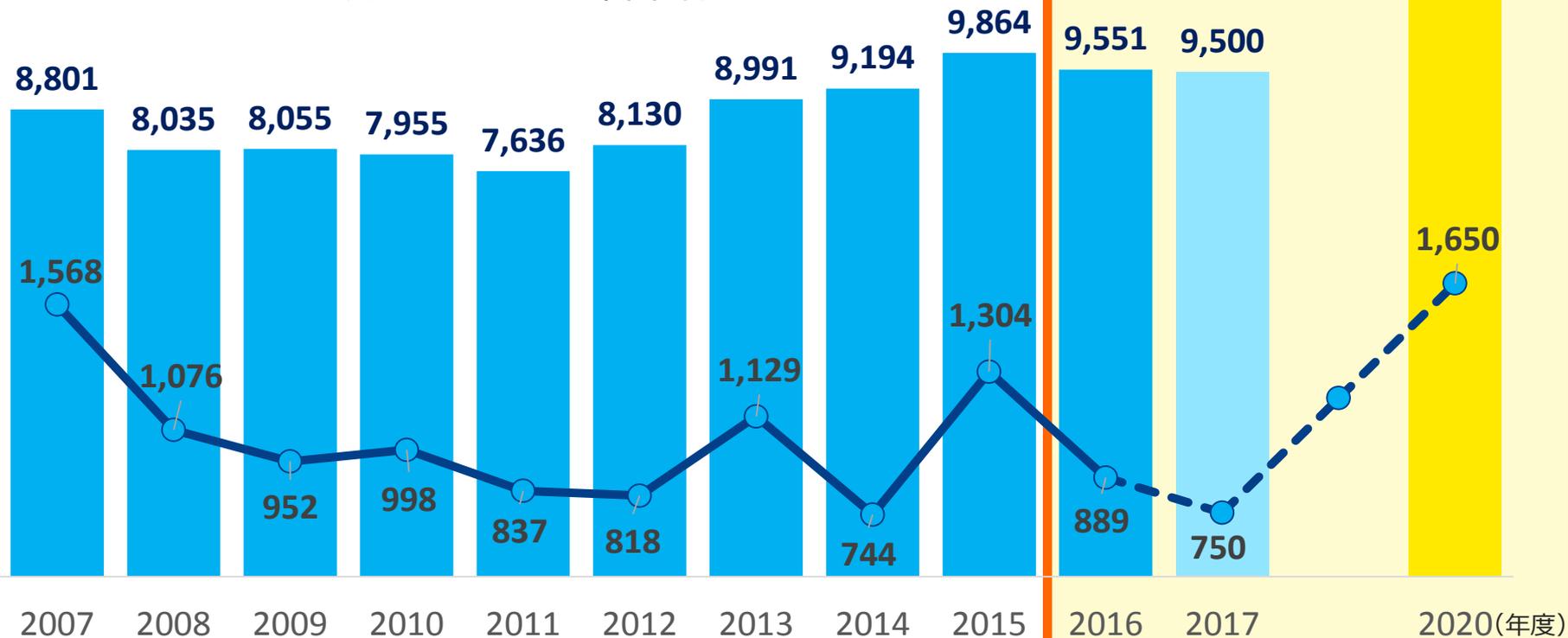
売上収益	9,551億円	
売上原価	3,494億円	36.6%
販売費・一般管理費	3,025億円	31.7%
研究開発費	2,143億円	22.4%
営業利益	889億円	9.3%
税引前利益	878億円	9.2%
当期利益 (親会社帰属)	535億円	5.6%

純資産	総資産	自己資本比率
1兆1,714億円	1兆9,150億円	61.4%

業績推移

(単位：億円)

■ 売上収益 ● 営業利益



第1期中期経営計画

統合シナジー創出と
成長基盤の拡充

第2期中期経営計画

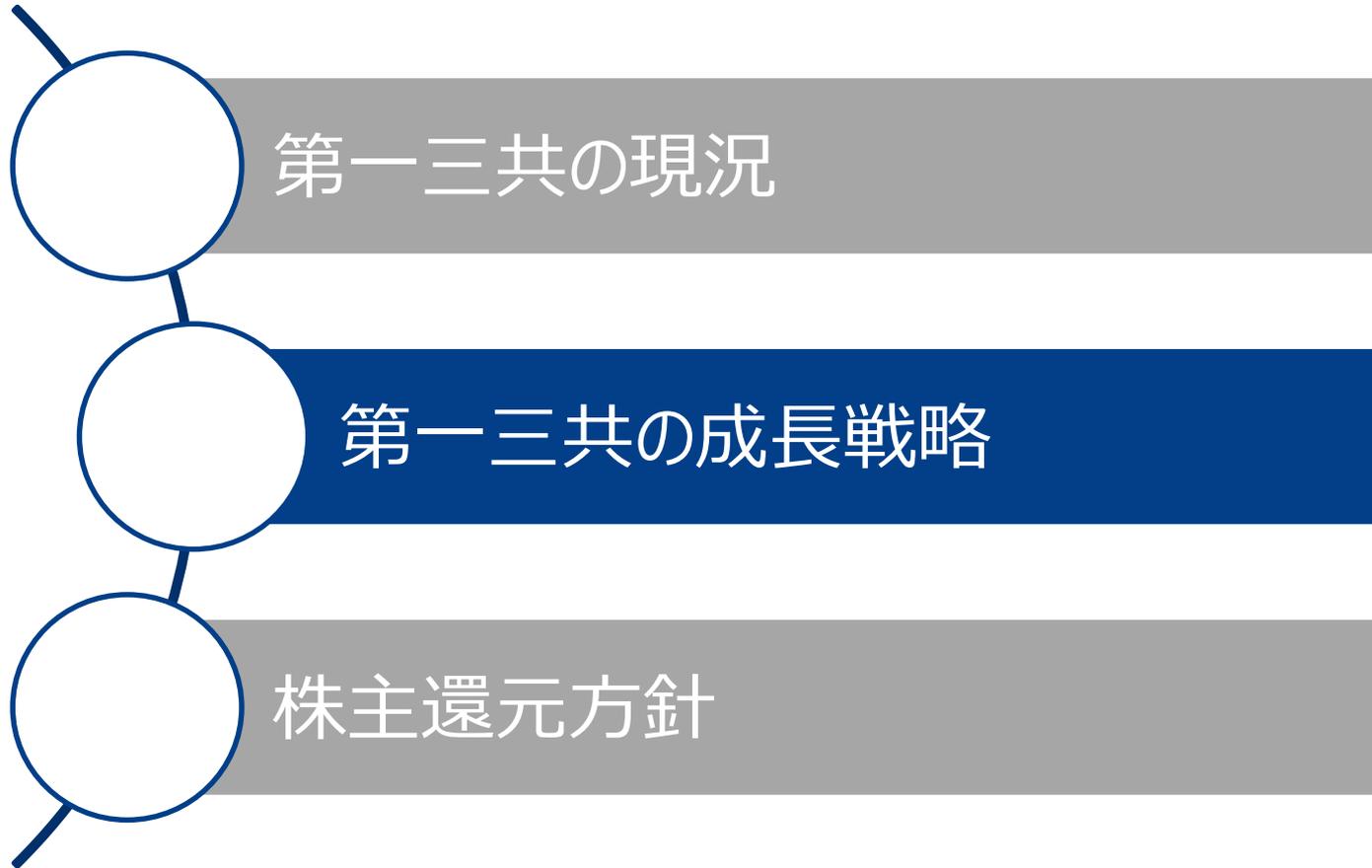
グローバルハイブリッド
ビジネスの推進

第3期中期経営計画

パテントクリフを越えた
持続的成長の実現

第4期中期経営計画

2025年ビジョンの
達成に向けた経営の転換



第一三共の現況

第一三共の成長戦略

2025年ビジョン

第4期中期経営計画

エドキサバン（リクシアナ）の成長

日本No.1カンパニーとしての成長

がん事業の立上げ・確立

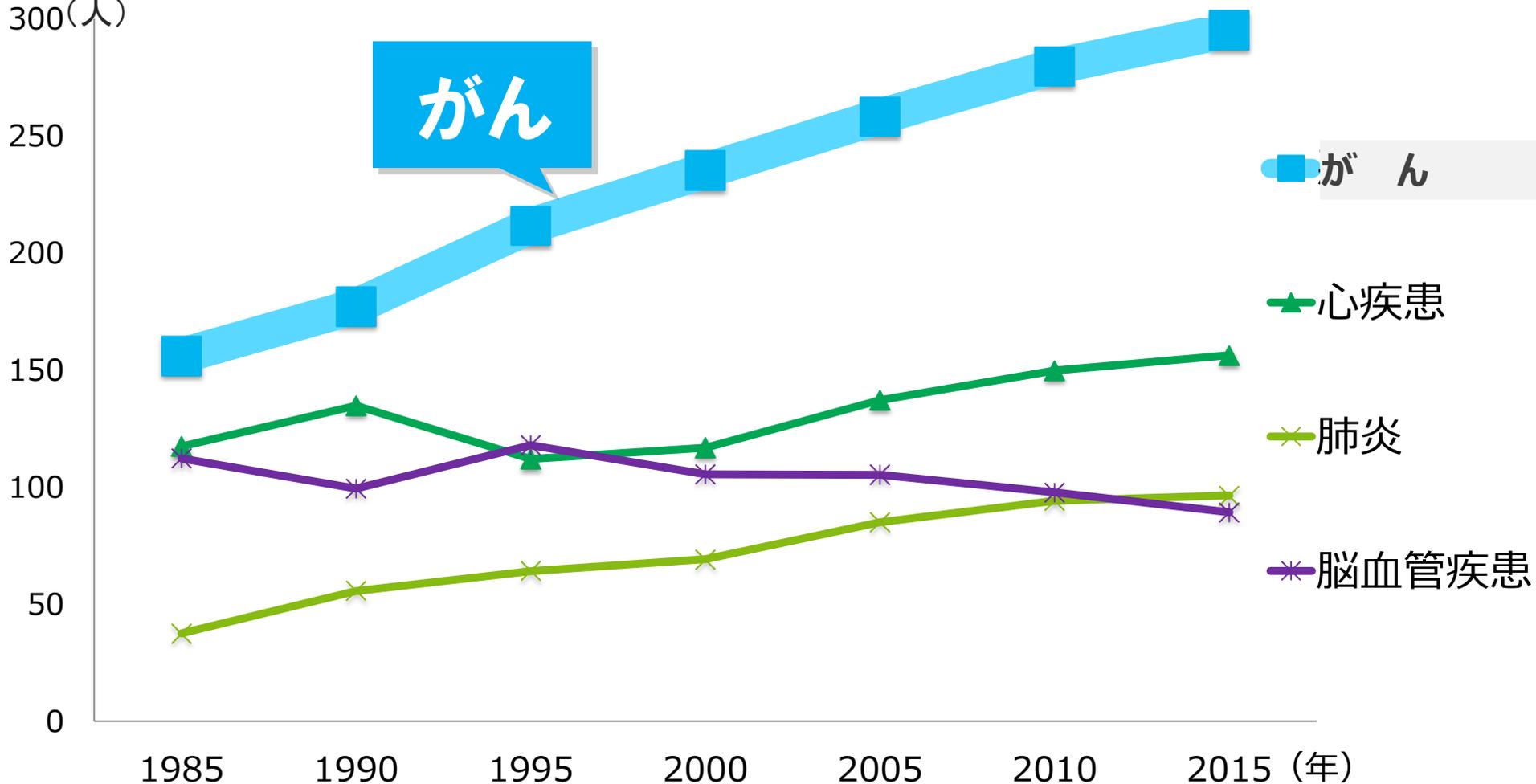
株主還元方針

がん**に強みを持つ** 先進的グローバル創薬企業

- **がん事業を中心とするスペシャルティ領域での事業が中核**
(病院・専門医で処方される医薬品)
- **各国市場に適合したリージョナルバリュー製品が豊富**
(各地域の事業戦略に適合した製品)
- **S O C を変革する先進的な製品・パイプラインが充実**
(スタンダードオブケア = 現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法)
- **効率的な経営による高い株主価値**

主要死因別死亡率の年次推移（日本）

(対人口10万人)
300(人)



第一三共の現況

第一三共の成長戦略

2025年ビジョン

第4期中期経営計画

エドキサバン（リクシアナ）の成長

日本No.1カンパニーとしての成長

がん事業の立上げ・確立

株主還元方針

2025年
ビジョン

2016~2020
第4期中計
[転換]

がんに強みを持つ
先進的グローバル
創薬企業へ

循環器や感染症等

世界中で使われる薬を
生み出してきた

- 高コレステロール血症治療剤 **メバロチン**
- 高血圧症治療剤 **オルメテック**
- 合成抗菌剤 **クラビット**

経営課題 ①

オルメサルタン パテントクリフの克服

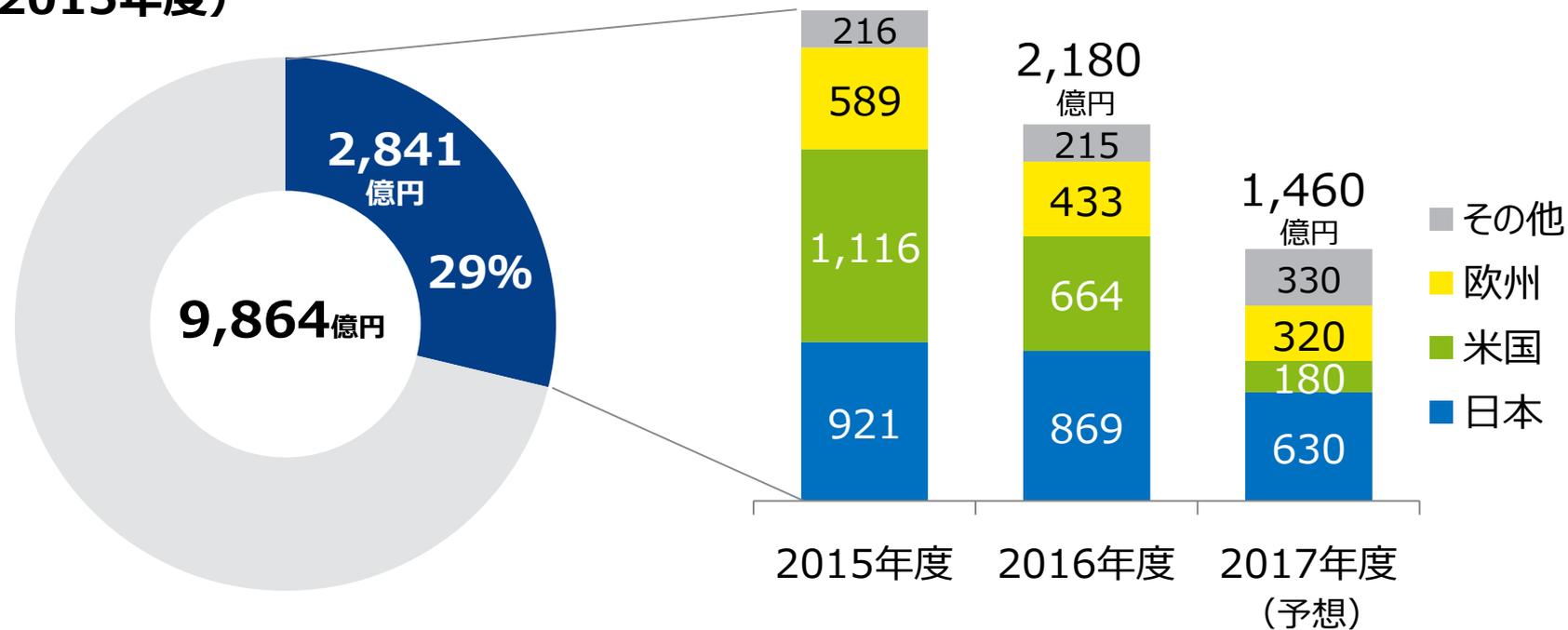
経営課題 ②

持続的成長基盤の確立

オルメサルタンの特許満了

連結売上収益の29%を占めるオルメサルタンの特許期間が2016年以降、世界各国で順次満了

オルメサルタンのグローバル売上収益
(2015年度)



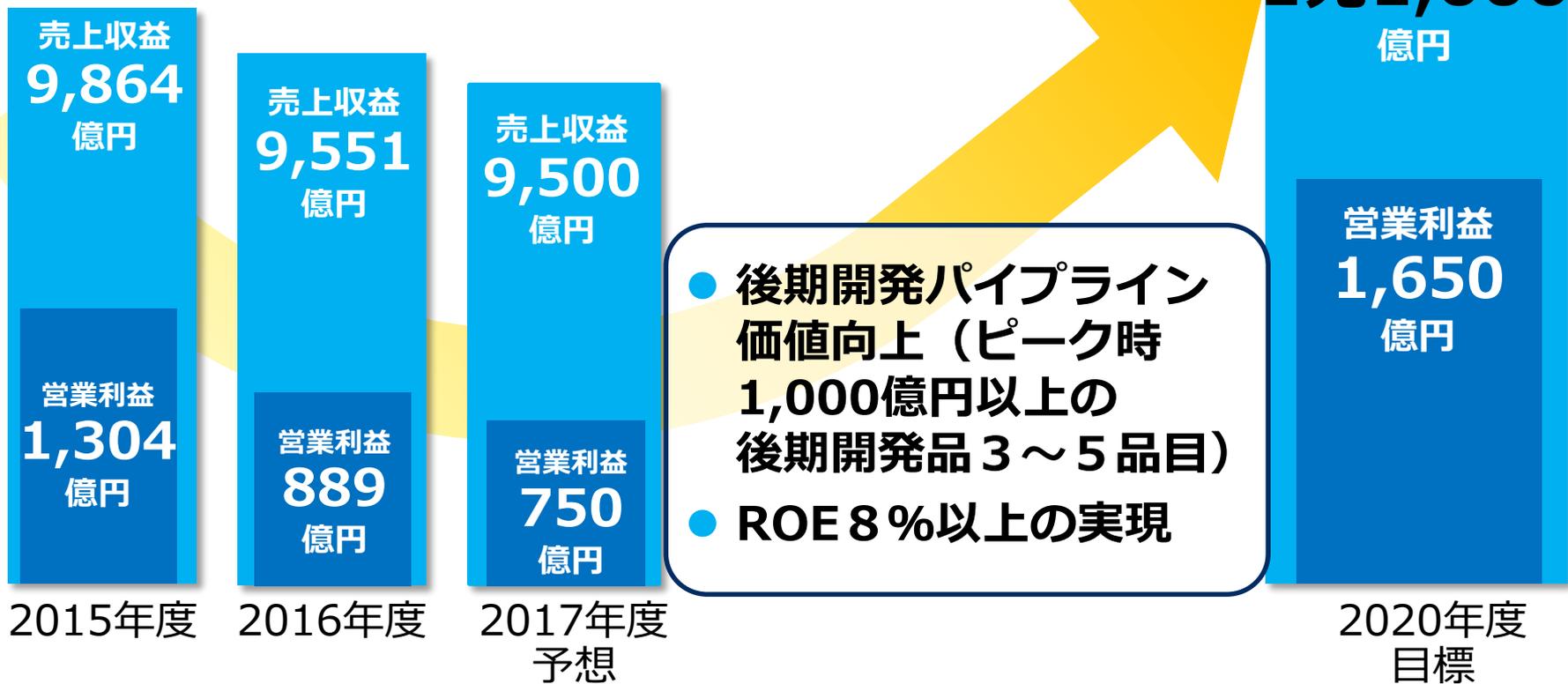
第4期中期経営計画（2016年度 - 2020年度）

経営課題 1

オルメサルタン パテントクリフの克服

経営課題 2

持続的成長基盤の確立



持続的成長基盤の確立に向けて

- ※ ① エドキサバン（日欧製品名：リクシアナ）の成長
- ※ ② 日本No.1カンパニーとしての成長
- ③ 米国事業の拡大
- ※ ④ がん事業の立上げ・確立
- ⑤ SOCを変革する先進的新薬の継続的創出
（現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法）
- ⑥ 利益創出力の強化

※ 本日も話しすること

第一三共の現況

第一三共の成長戦略

2025年ビジョン

第4期中期経営計画

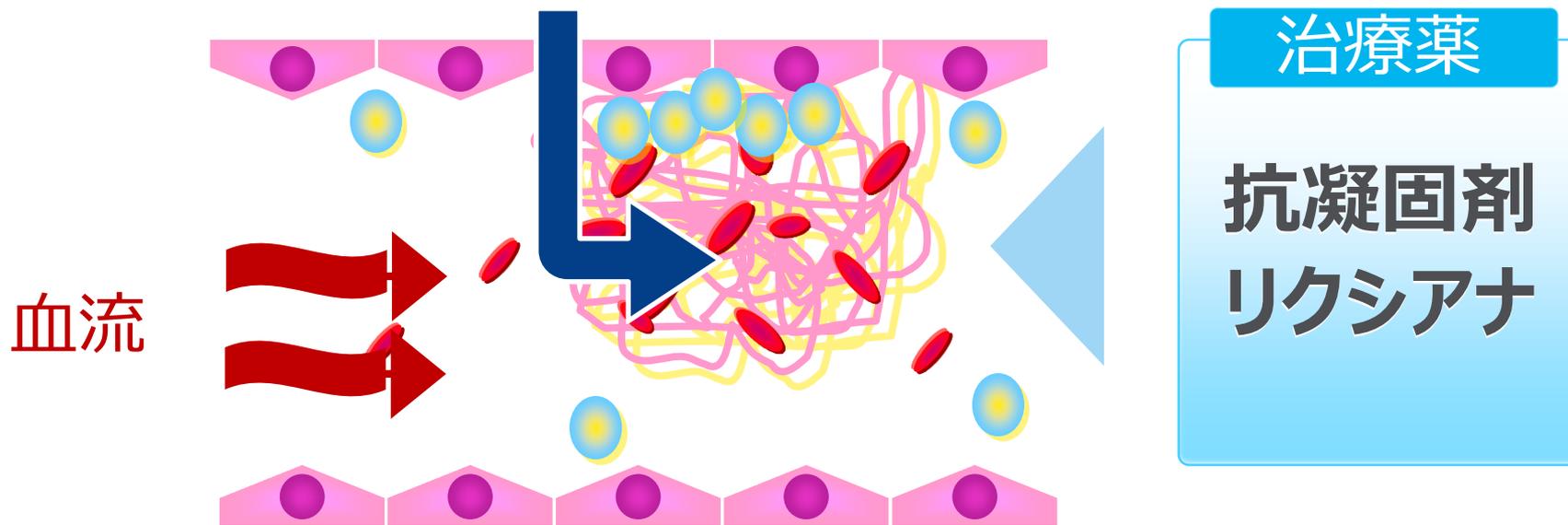
エドキサバン（リクシアナ）の成長

日本No.1カンパニーとしての成長

がん事業の立上げ・確立

株主還元方針

静脈血栓（血液の固まり）



- 心房細動による脳梗塞等の予防（AF）
- 肺塞栓症や、エコノミークラス症候群の治療・予防（VTE）

エドキサバン（製品名リクシアナ）の成長

2020年度までに売上**1,200**億円（**10億**ドル）以上へ

発売・上市国の拡大

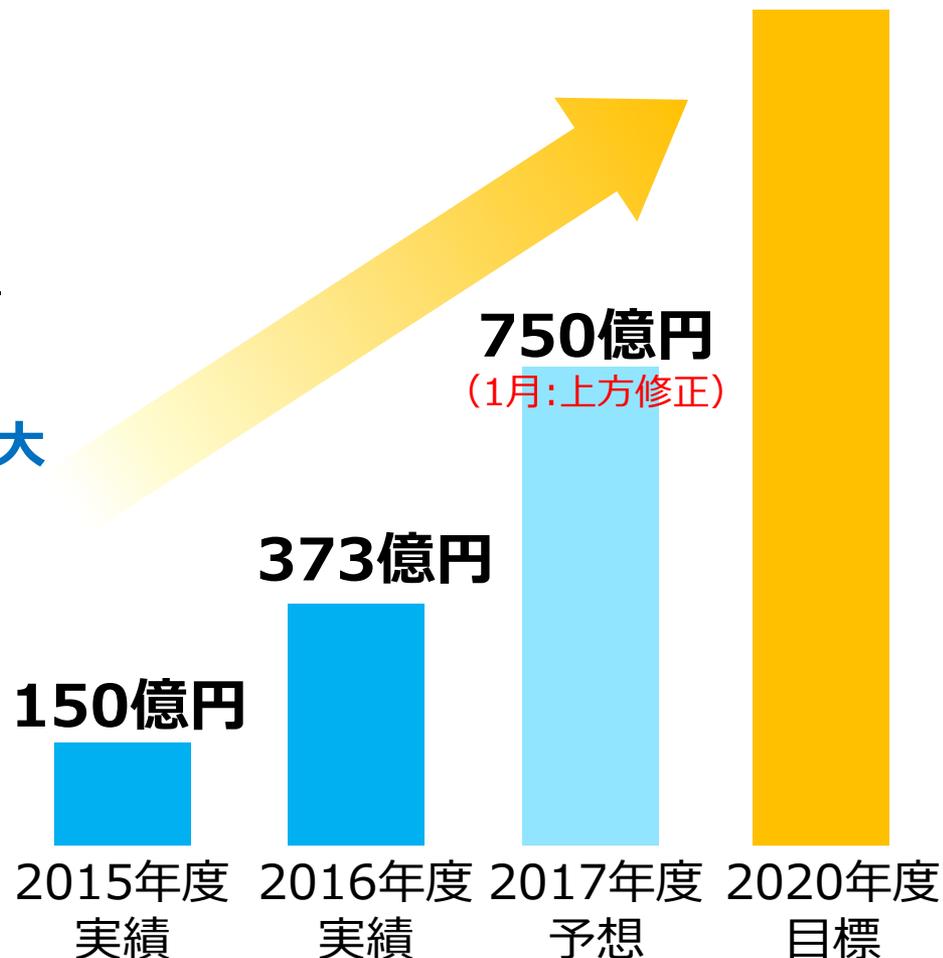
- 20カ国以上で発売・上市達成
- グローバル市場の約95%をカバー

日本・欧州における順調な売上収益拡大

- 安全性、有効性のバランス
- 1日一回投与の利便性

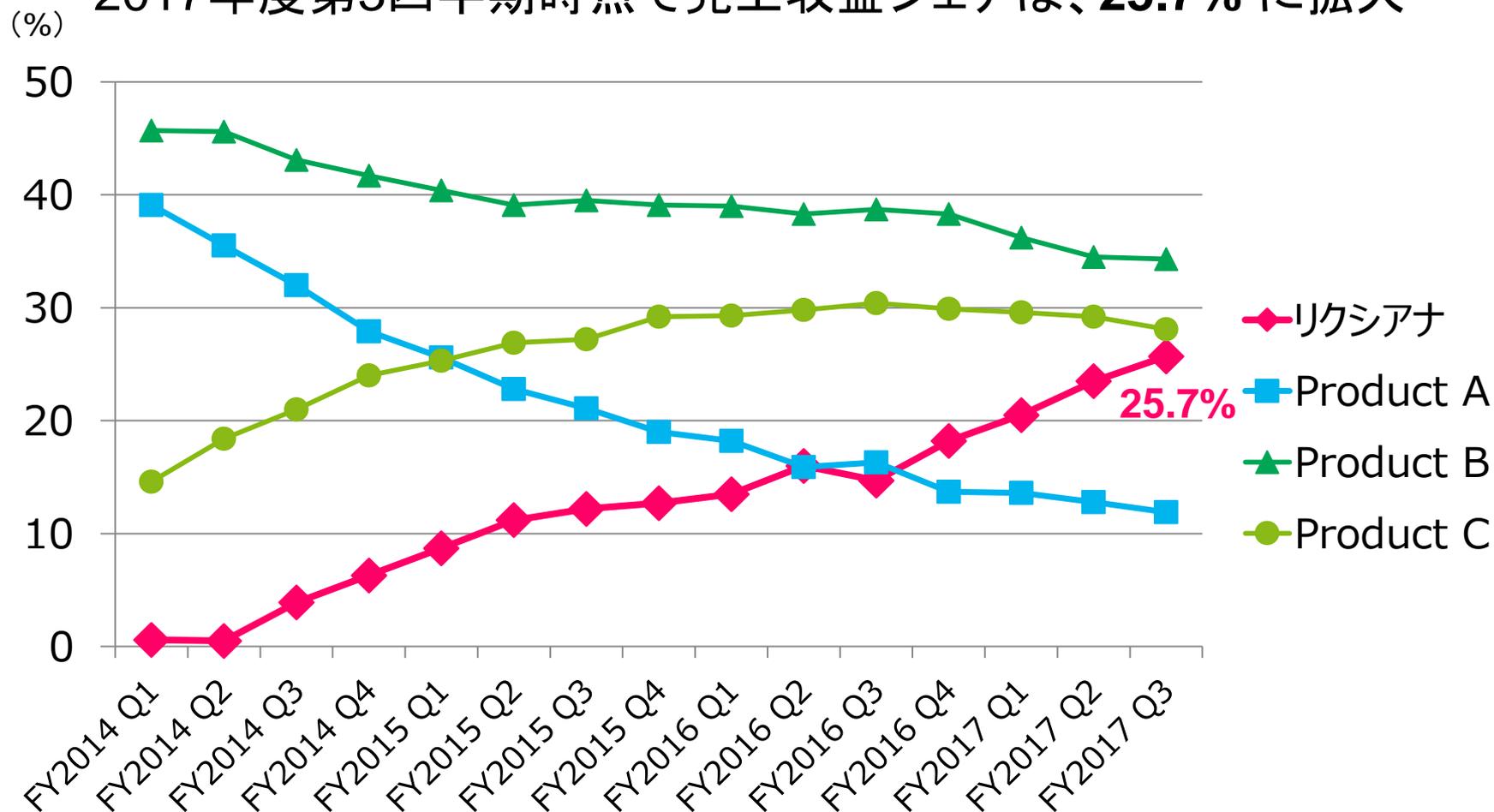
新規エビデンス創出の加速

- 臨床試験、臨床研究



リクシアナ：日本における成長

2017年度第3四半期時点で売上収益シェアは、**25.7%** に拡大



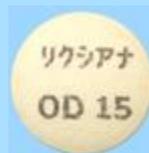
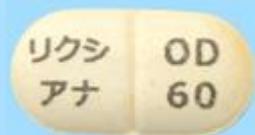
OD錠
新発売

抗凝固療法に新たな選択肢
リクシアナ[®]OD錠

Orally Disintegrating Tablet：口腔内崩壊錠

“飲みやすさ”と“使いやすさ”の工夫をした1日1回のリクシアナOD錠

- 速やかに崩壊します
- 水なしでも、水ありでも、服薬できます
- 香料を含んでおらず、わずかな甘みがあります
- 錠剤に製品名が印字されており、識別性が向上



第一三共の現況

第一三共の成長戦略

2025年ビジョン

第4期中期経営計画

エドキサバン（リクシアナ）の成長

日本No.1カンパニーとしての成長

がん事業の立上げ・確立

株主還元方針

主力6製品：多くがシェア第1位を獲得し、更に拡大中

シェア
No.1



抗潰瘍剤
ネキシウム

シェア
No.1



アルツハイマー型
認知症治療剤
メモリー

シェア
No.1



※骨吸収抑制剤市場において

骨粗鬆症治療剤
プラリア

シェア
No.1



がん骨転移による
骨病変治療剤
ランマーク

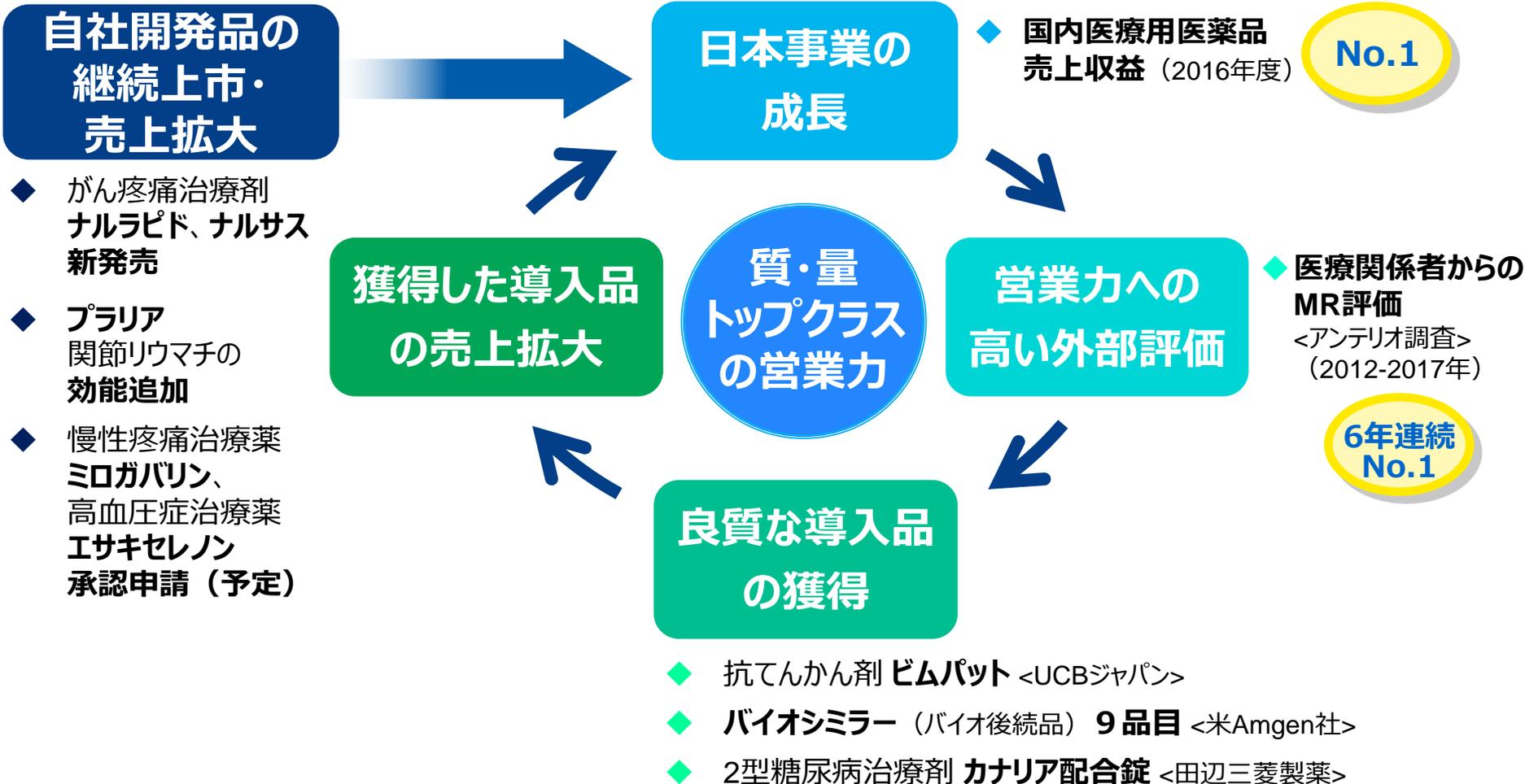


抗血小板剤
エフィエント



2型糖尿病
治療剤テネリア

持続的成長のサイクル



■ オーソライズド・ジェネリック（AG）事業強化（第一三共エスファ）

2017年6月 ミカルディスAG（テルミサルタン）

2017年9月 クレストールAG（ロスバスタチン）

オルメテックAG（オルメサルタン）

オーソライズド・ジェネリックとは

先発医薬品メーカーからの特許などの許諾を受けて製造される後発医薬品

- オリジナル品と同じ製法で生産
- オリジナル品と全く同じ品質



有効成分	オリジナル品と 同一
原薬	
添加物	
製法	
製造工場※	
形状・色・味	同一 (再審査対象の適応症除く)
効能・効果	
薬価(新発売時)	4～5割

※製造工場は同一でない場合もあります

■ セルフメディケーションを推進し、健康寿命の伸長に貢献 (第一三共ヘルスケア)

自分自身の健康管理を心がけると共に、軽い症状であればOTC医薬品を利用することによって、自分で自分の健康を管理すること（セルフケア）を国として推進



第一三共ヘルスケア製品（OTC医薬品等）

新ルルAゴールドDX



第一三共胃腸薬プラス細粒



ロキソニンS



ロキソニンSテープ



ミノン



グリーンデンタル



第一三共の現況

第一三共の成長戦略

2025年ビジョン

第4期中期経営計画

エドキサバン（リクシアナ）の成長

日本No.1カンパニーとしての成長

がん事業の立上げ・確立

株主還元方針

第一三共がん領域の2つのフランチャイズ

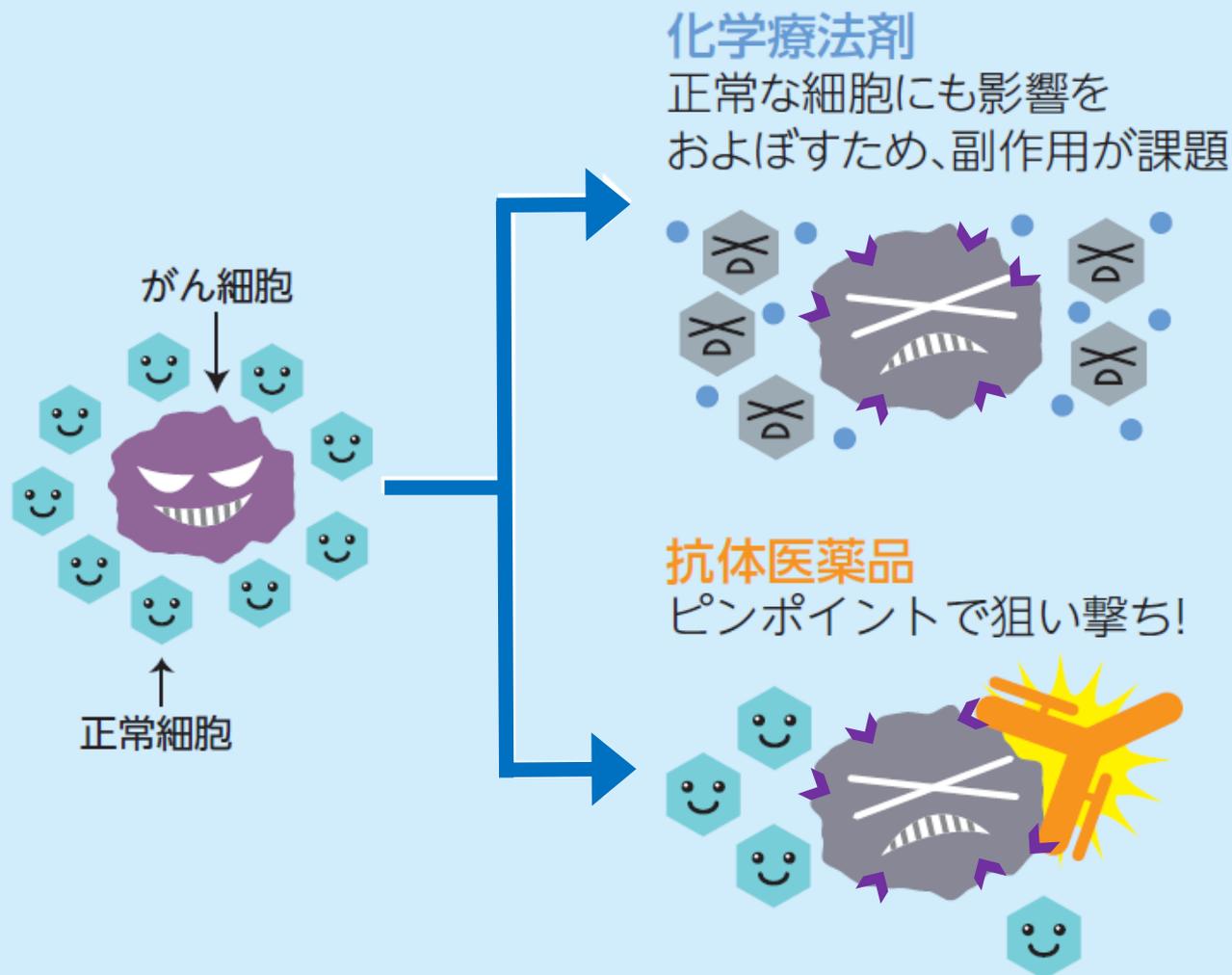
抗体薬物複合体（ADC）

独自技術の開発・開発技術の応用

フラグシップアセット：DS-8201

急性骨髄性白血病（AML）

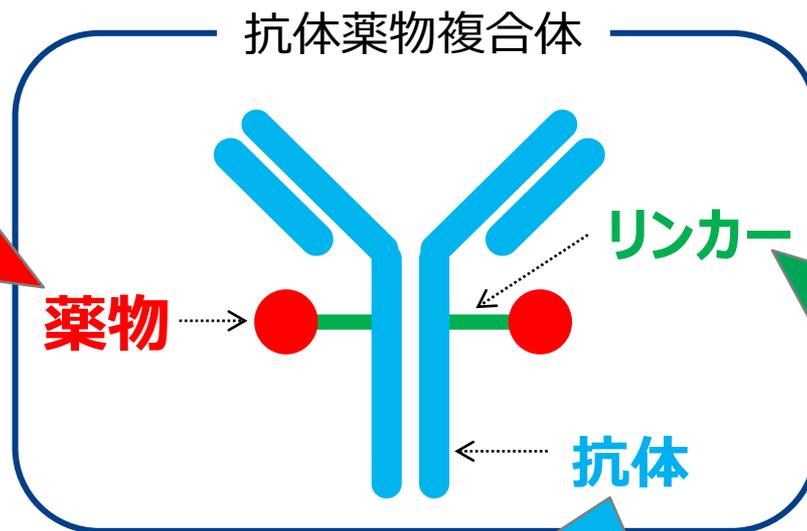
複数の新規薬剤の開発



- ◆ **がん細胞** で過剰に発現している **抗原** に特異的に結合して、がんを攻撃
- ◆ **抗体** を変えると、**標的** となる **抗原** が変わるので、**様々ながん** を狙い撃ち

第一三共独自の技術

- ・ 差別化された強力な薬剤
- ・ 血中で速やかに代謝



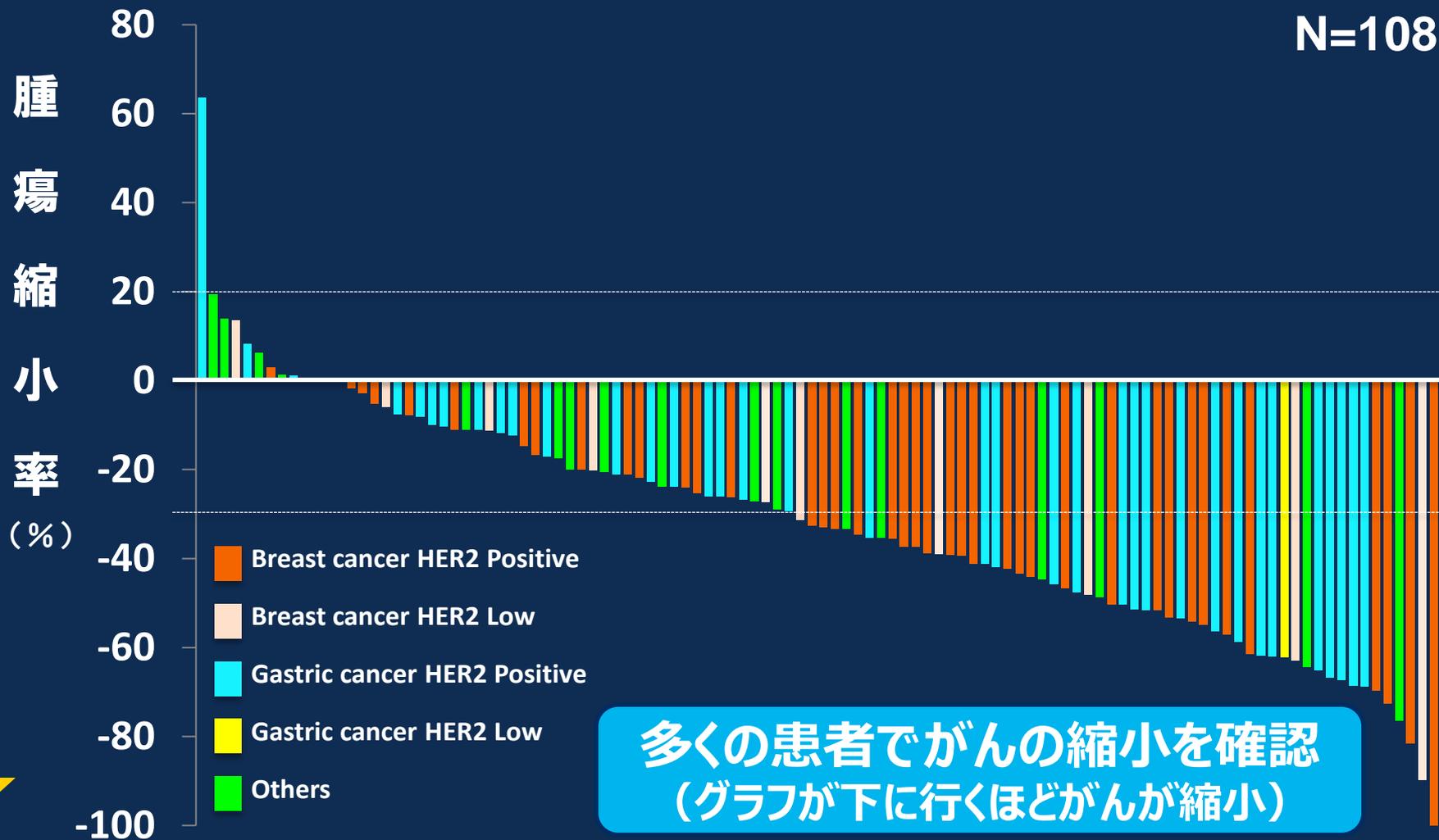
- ・ ひとつの抗体に多くの薬物を搭載可能
- ・ 安定性が高く、血中で薬物が外れにくい

がん細胞表面の抗原と効果的に結合

フラグシップアセットのDS-8201はHER2抗原をターゲットとしたADC

DS-8201 (HER-2をターゲットとしたADC) : ベースラインからの最大腫瘍縮小率 (%)

N=108



抗体薬物複合体 (ADC) : DS-8201

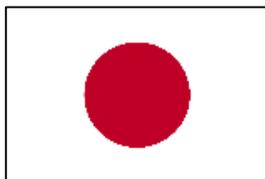
HER2を発現しているがん腫をターゲット

FDA
優先承認審査
指定

乳がん

FDA
画期的治療薬
指定

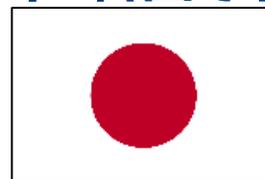
グローバルで承認を目指す



2020年の承認申請に向けて
フェーズ2試験を実施中

胃がん

日本・韓国で承認を目指す



2020年の承認申請に向けて
フェーズ2試験を実施中

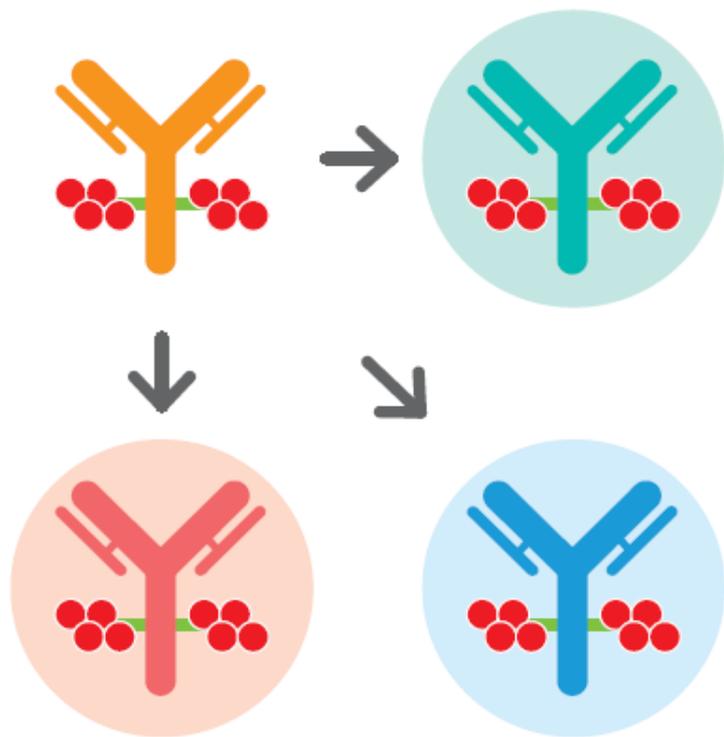
オプジーボ®併用療法 乳がん・膀胱がん



2021年以降の承認申請に向けて
フェーズ1試験を開始予定
(2018年4月~6月)

抗体薬物複合体（ADC）フランチャイズ

第一三共のADC技術は、
様々な抗体と組み合わせることが可能



プロジェクトコード	抗体標的	適応症	臨床試験
DS-8201	HER2	乳がん 胃がん 肺がん 大腸がん 膀胱がん 等	フェーズ1～ 申請用試験
U3-1402	HER3	乳がん 非小細胞肺がん	フェーズ1
DS-1062	TROP2	非小細胞肺がん	フェーズ1
DS-7300	B7-H3	固形がん	
DS-6157	非開示	消化管間質腫瘍	
DS-6000	非開示	腎臓がん 卵巣がん	

SOCを変革する先進的新薬創出

先進的技術の導入および提携（オープンイノベーション）

■ がん領域

- ▶ 東京大学医科学研究所との共同研究
DS-1647：がん治療ウイルス G47Δ

先駆け審査
指定

- ▶ 米国Kite社からの導入
KTE-C19：遺伝子改変自家Tリンパ球を用いた細胞治療薬
(CAR-T療法)

画期的治療薬
指定

■ 心不全・腎障害領域

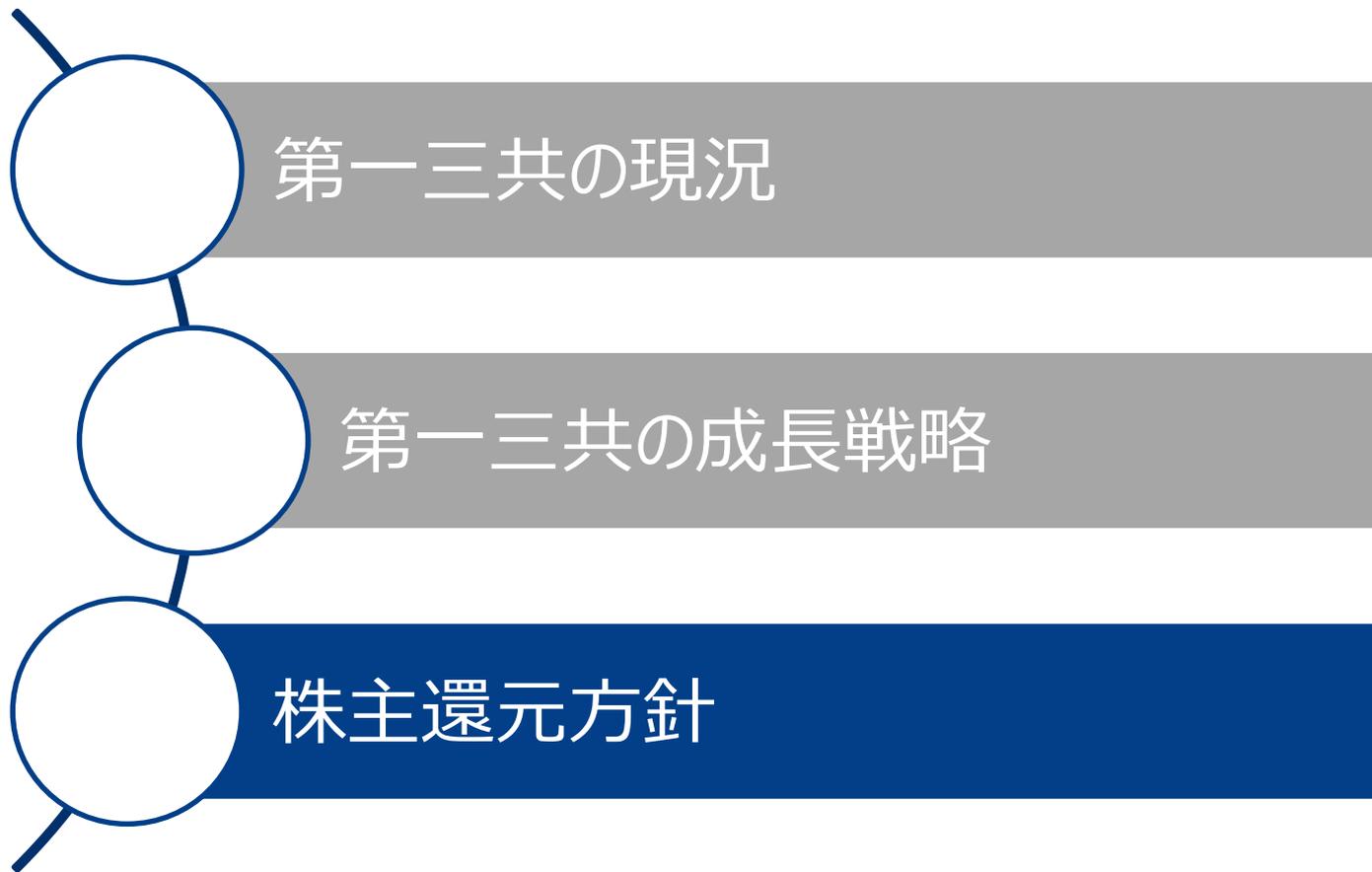
- ▶ 英国Celixir社からの導入
DS-8100：虚血性心不全に対する他家細胞治療薬 ハートセル
- ▶ 大阪大学発ベンチャー企業クオリプスとの提携
iPS細胞由来心筋シート

■ 希少疾患領域

- ▶ ODTI※との共同開発
DS-5141：デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬（核酸医薬）

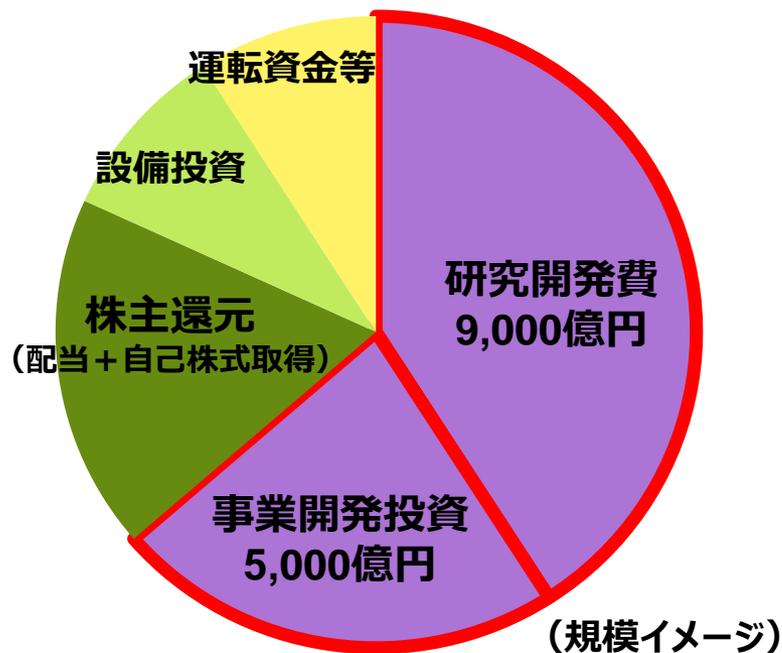
先駆け審査
指定

※ 株式会社Orphan Disease Treatment Instituteの略称。
株式会社産業革新機構と三菱UFJキャピタル株式会社の運用するファンドと当社との共同投資により設立した会社。

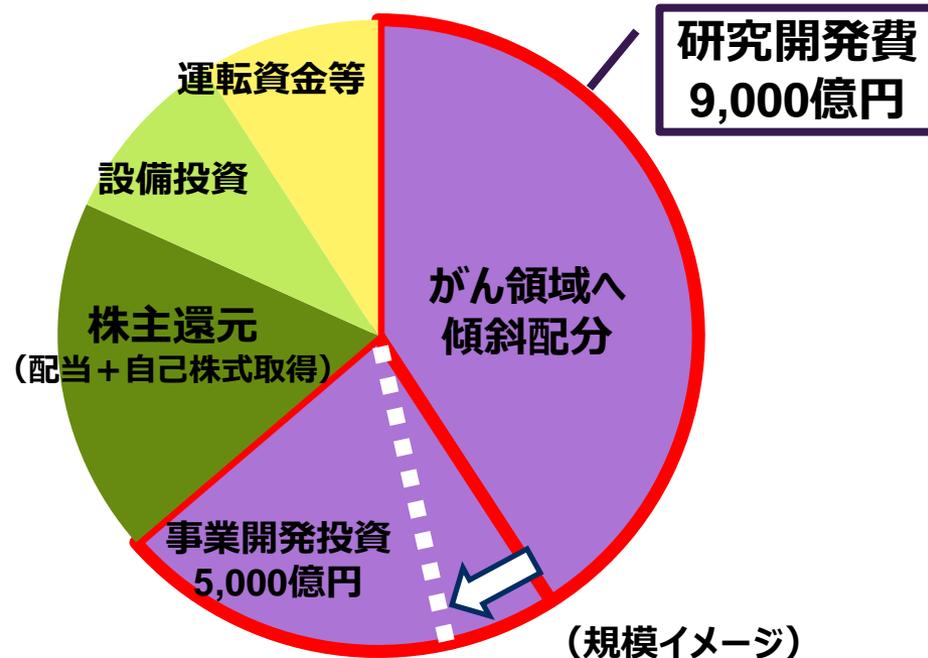


がん領域のパイプラインの価値最大化に向けた研究開発資源のシフト・増強

中期経営計画立案時



見直し後



- ◆ 9,000億円をがん領域へ傾斜配分 (がん以外の領域を縮小)
- ◆ 事業開発投資5,000億円も社内投資へ柔軟活用

株主還元方針（第4期中期経営計画）

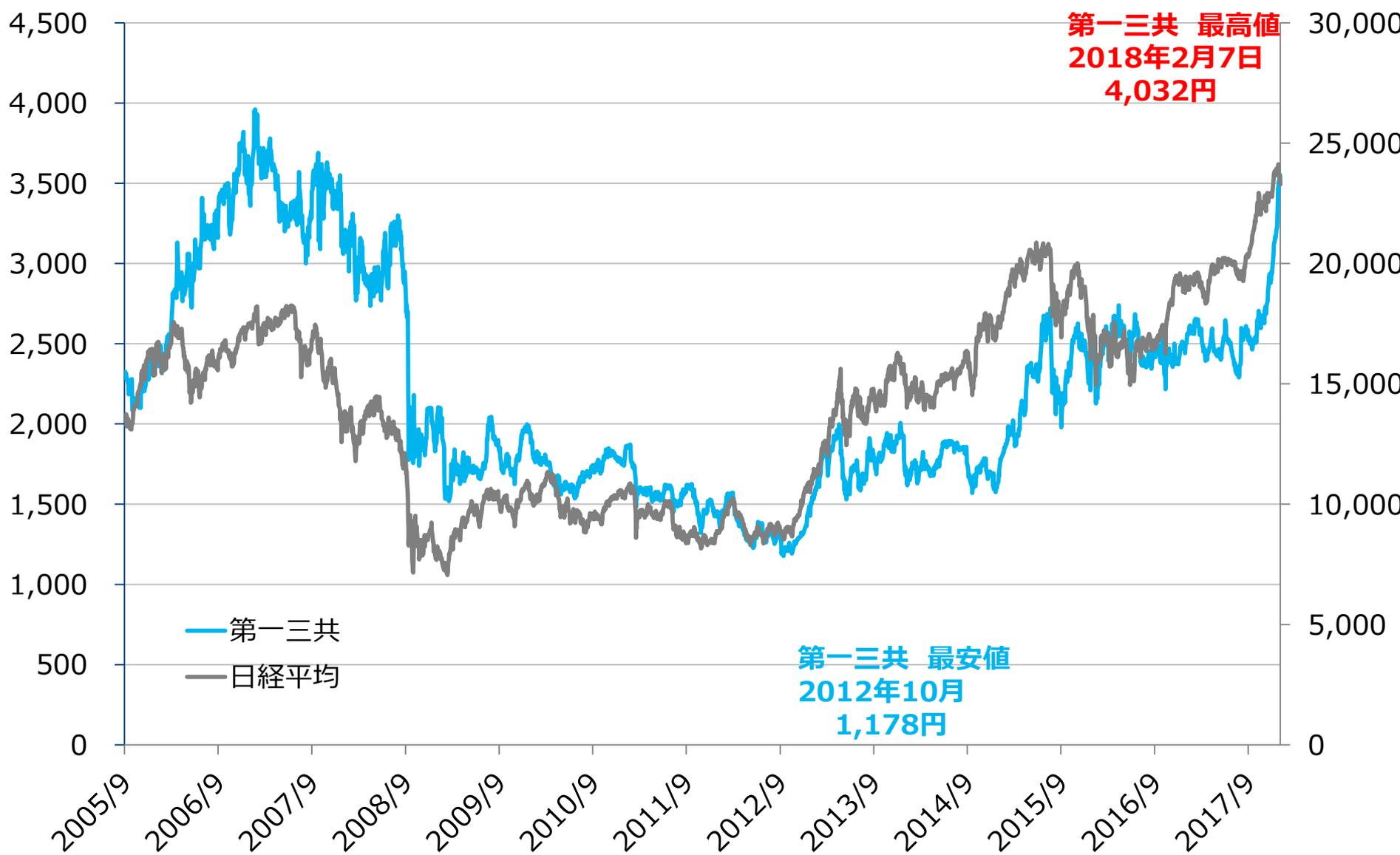
- 総還元性向※ : 100%以上
- 普通配当 : 年間70円以上
- 自己株式取得 : 機動的に実施

		2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 予想
総還元性向		118.9%	180.7%	
配当	普通配当	60円	70円	70円（予定）
	記念配当	10円	—	—
自己株式取得		500億円	500億円	実施中

- ◆ 取得期間：2017年11月1日～2018年3月23日
- ◆ 取得総額：500億円（上限）
- ◆ 取得株数：2,800万株（上限）

※ 総還元性向 = (配当+自己株式取得総額) / 当期利益 (親会社帰属)

株価推移



持続的な企業価値の向上

世界的な社会的責任投資評価

日本企業として初選定（医薬品セクター）

2017年9月
DJSI World 構成銘柄

2018年2月
RobecoSAM シルバークラス

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM



ROBECOSAM
Sustainability Award
Silver Class 2018

<評価ポイント>

- 環境 (E) – 気候戦略を含む全体的な取り組み
- 社会 (S) – 労働安全衛生、健康アウトカムへの寄与、医薬品へのアクセス改善戦略
- ガバナンス (G) – 行動規範、優先的に取り組むべき重要課題の選定（マテリアリティ）

CSR活動への社員参加

さまざまな形で社会的課題の解消に取り組んでいます

がんの患者さんとそのご家族と共に
第一三共Presents家族のきずなシアター



社員ボランティアが受付や誘導などの運営全般を担当

救命処置である
心肺蘇生に関する教育活動



心肺蘇生に関する教育活動の様子

社員食堂のヘルシーランチ 1食につき
20円が寄付されます



TABLE FOR TWO
低カロリー食で食の不均衡を解消し
開発途上国の子どもたちへ
学校給食をプレゼント

世界の飢饉撲滅のための活動
Rise Against Hunger



栄養食の梱包の様子

心臓病の予防啓発のための
ウォーキングイベント
ハートウォーク



ウォーキングイベントの様子

株主の皆様とのコミュニケーション強化

株主説明会の開催（本日）

**株主の皆様のご意見を
経営に反映**

高い株主価値の実現

株主総会の開催（6月）

議決権行使により、皆様のお声を寄せてください

ご参考：主要研究開発パイプライン

2018年1月現在



	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請
オンコロジー	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-3032 (米日) (MDM2阻害剤) ■ PLX7486 (米) (FMS/TRK阻害剤) ■ PLX8394 (米) (BRAF阻害剤) ■ PLX9486 (米) (KIT阻害剤) ■ DS-3201 (日米) (EZH1/2阻害剤) ■ PLX73086 (米) (CSF-1R阻害剤) ■ PLX51107 (米) (BRD4阻害剤) ■ U3-1402 (日米) (抗HER3 ADC) ■ DS-1001 (日) (変異型IDH1阻害剤) ■ DS-1205 (米) (AXL阻害剤) ■ PLX2853 (米) (BRD4阻害剤) ■ DS-1062 (米日) (抗TROP2 ADC) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ パトリツマブ (欧) (U3-1287/膵臓がん/抗HER3抗体) ■ DS-1647 (日) (膠芽腫 / G47Δウイルス) ■ キザルチニブ (日) (AC220/急性骨髄性白血病-2nd/FLT3阻害剤) ■ DS-8201 (日米欧) (乳がん/抗HER2 ADC) ■ DS-8201 (日垂) (胃がん/抗HER2 ADC) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ デノスマブ (日) (AMG 162/乳がん補助療法/抗RANKL抗体) ■ キザルチニブ (米欧垂) (AC220/急性骨髄性白血病-2nd/FLT3阻害剤) ■ キザルチニブ (米欧垂) (AC220/急性骨髄性白血病-1st/FLT3阻害剤) ■ ペキシダルチニブ (米欧) (PLX3397/腱滑膜巨細胞腫/CSF-1R/KIT/FLT3阻害剤) ■ ニモツズマブ (日) (DE-766/胃がん/抗EGFR抗体) 	
スペシャルティ メディスン	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-1040 (米欧日) (急性期虚血性脳血管障害, 急性肺血栓塞栓症/TAFIa阻害剤) ■ DS-2330 (高リン酸血症) ■ DS-1971 (慢性疼痛) ■ DS-1501 (米) (骨粗鬆症/抗Siglec-15抗体) ■ DS-7080 (米) (加齢黄斑変性症/血管新生抑制剤) ■ DS-5141 (日) (DMD/ENAオリゴヌクレオチド) ■ DS-1211 (米) (TNAP阻害剤) ■ VN-0102/JVC-001 (日) (MMRワクチン) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ エドキサバン (日) (DU-176b/AF/超高齢者/経口FXa阻害剤) ■ プラスグレル (日) (CS-747/虚血性脳血管障害/抗血小板剤) ■ エサキセレン (日) (CS-3150/高血圧症/MR拮抗薬) ■ エサキセレン (日) (CS-3150/糖尿病性腎症/MR拮抗薬) ■ ミロガバリン (米欧) (DS-5565/FM/a2δリガンド) ■ ミロガバリン (日垂) (DS-5565/DPNP/a2δリガンド) ■ ミロガバリン (日垂) (DS-5565/PHN/a2δリガンド) ■ ラニナミビル (日) (CS-8958/抗心臓β/ネブライザー) ■ VN-0105 (日) (DPT-IPV/Hib/5種混合ワクチン) ■ 皮内用インフルエンザ[®] HAワクチン (日) (VN-100 / インフルエンザ[®] 感染症) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エドキサバン (ASCA 他) (DU-176b/AF/経口FXa阻害剤) ■ エドキサバン (ASCA 他) (DU-176b/VTE/経口FXa阻害剤) ■ VN-0107/MEDI3250 (日) (鼻腔噴霧4価インフルエンザワクチン)

ご参考：研究開発マイルストーン

品目	適応症・試験	FY2017		FY2018		
		3Q	4Q	Q1	Q2	Q3
キザルチニブ	P3 : QuANTUM-R AML2 nd ラインセカンドライン			TLR		
	P1 : AML DS-3032併用			試験開始		
DS-8201	P2 : Pivotal HER2陽性胃がん (トラスツズマブ治療抵抗性)	試験開始				
	P3 : HER2陽性乳がんT-DM1治療後vs医師選択			試験開始		
	P3 : HER2陽性乳がん vs T-DM1			試験開始		
	P3 : HER2低発現乳がん					試験開始
	P2 : HER2陽性 大腸がん		試験開始			
	P2 : HER2陽性 NSCLC			試験開始		
	P1b : HER2陽性乳がん・膀胱がん/ニボルマブ併用			試験開始		
	P1/2 : HER2陽性乳がん・NSCLC/IO併用					試験開始
	P1/2 : HER2陽性乳がん・胃がん/IO併用					試験開始
U3-1402	P1/2 : HER3陽性難治性転移性乳がん			P2パート 試験開始		
	P1 : EGFR変異NSCLC		試験開始			
DS-1062	P1 : 固形がん (NSCLC)		試験開始			
DS-1205	P1 : EGFR変異NSCLC/オシメルチニブ併用		試験開始			
ヒドロモルフォン	P3 : がん疼痛 (注射剤)		承認			
ミロガバリン	P3 : PHN/DPNP		申請			
エサキセレノン	P3 : 本態性高血圧症		申請			
DS-5141	P1/2 : デュシェンヌ型筋ジストロフィー症			TLR		

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1125 (株主・投資家様専用電話)

Email: DaiichiSankyoIR@daiichisankyo.co.jp